

第42回技術士全国大会 in 富山に参加しました

第42回技術士全国大会 in 富山が平成27年10月2日(金)～3日(土)にかけて開催されました。

この大会は、全国で活躍している技術士のコミュニケーションを図ることを目的に、毎年、開催地を替えて行われ、今回は北陸支部の富山で開催されました。

島根県技術士会からは大坂伊作、長島哲郎、嘉藤剛、稲田誠の4名が参加しました。

➤ 全国大会 in 富山青年イベントスケジュール

◎青年イベント日程

月日	時間	行事	場所
10/2(金)	20:30～	青年二次会 ※交流パーティー後	虎楽(とらく) 富山市西町4-2
10/3(土)	8:30～9:00	受付	富山国際会議場 (201・202)
	9:00～10:00	全国青年技術士交流会 (統括本部主催)	
	10:00～	青年技術士の集いin富山	富山市内
	13:30～	テクノツーリズム	呉羽ハイツ
18:30～	大懇親会(宿泊あり)		
10/4(日)	AM	解散	

➤ 青年二次会

青年二次会は全国から約60名が参加し、2階建て居酒屋を丸ごと貸し切って行われました。ここで明日のイベントへ向けます、顔合わせというところです。



1階の状況。2階は満席状態でした。

➤ 全国青年技術士交流会

次回のミニ全国大会の開催地に立候補が4支部あり、プレゼンの結果、東北支部に決定しました。



各支部による次回開催に向けたプレゼン

➤ 青年の集い

青年の集いでは、「富山を印象付けるキャッチコピーを作ろう！」というテーマで班別に分かれ、富山に①いきたい②すみたい③はたらきたいと思えるような印象付けるキャッチコピーを考案し、発表しました。



各班に分かれて考案



班の考案状況



大坂青年部会長によるプレゼン



長島青年部事務局長によるプレゼン

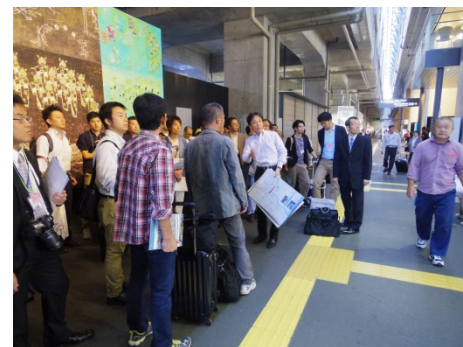
➤ テクノツーリズム

①富山駅周辺整備事業

富山駅周辺整備事業は公共交通ネットワークを中心とし、コンパクトな都市を目指して再整備中です。事業主である富山市による説明をしていただきました。



JR 富山駅（整備中）



富山市による事業説明



富山駅に到着するライトレール

②中島閘門

国指定重要文化財に指定されている「中島閘門」は、富岩運河の中央に上下流の水位差を調整する閘門により、船の運航を支えていました。現在は運河クルーズの観光スポットとなっています。



閘門区間



閘門操作室



閘門開閉状況



クルーズ船が下流部（富山湾）へ

③岩瀬のまちなみ

岩瀬地区は江戸初期から日本海を行き来する北前船の港町として、廻船問屋で栄えた町です。歴史ある古い家屋が現在も多く保存されており、貴重な町並みが形成されています。

国指定重要文化財に指定された廻船問屋型家屋「森家」で岩瀬の歴史等について、丁寧でもしるい解説が聞けました。



岩瀬のまちなみ



森家での解説

➤ 大懇親会

大懇親会は、富山市郊外にある温泉旅館呉羽ハイツで約70名により、行われました。

富山のキトキト（新鮮）な地元料理に舌鼓を打ち、全国支部から地酒持ち込みによる利き酒大会、富山地元クイズを行い、親交が深まりました。



大懇親会



富山の地元食材料理



全国支部から持ち込まれた利き酒大会



中国支部による地酒プレゼン



稲田さんがクイズで最後まで正解し、富山グッズをゲット



技術士Tシャツの完成(今回大会は”士”)

➤ 大会を振り返って

全国大会は、全国の様々な分野の技術士およびそれを志す人が参加していて、皆さん親しみやすく、交流により知見を広げることができたりなどと刺激を受けます。また、技術士の方が大半ですが、修習技術者（技術士補）の参加者が意外と多いです。若い力が本部および支部の活性化に一役買っていると感じます。本会準会員の方も積極的に参加（入会資格保有者は入会）して、刺激を受けるもいい経験になるのではないかと感じました。

➤ おまけ

・ 立山カルデラ砂防博物館

最終日は、富山といえば黒部ダムですが、時間の制約を考慮して、砂防施設で有名な「立山カルデラ砂防博物館」へ行ってきました。

ここでは、立山カルデラの山崩れの歴史や砂防との戦いが分かり易く解説・展示され、興味のある人は一日中いても飽きない施設です。



博物館前で記念撮影



大型ホールで「山崩れ」など 3D 映像を鑑賞



模型によって分かり易い展示室



立山山崩れから平野部に流下した大転石

・ 移動

島根（出雲）～富山間は車で移動しました。休憩、食事を含め7時間の長距離ドライブとなりました。お疲れさまでした。



今回移動車 嘉藤号



車内状況